

ほとけの子だよい



す いろ
好きな色にぬってみてね！



ゆっくりたのしんでね。ひと
むずかしかったら、おとなの人と
いっしょによんでみてね！



ほとけさまのお話

みなさん、
太陽は好きですか？



かんが
あまり考えたことはないか
わたし たいよう
もしれませんが、私は、太陽
す
が好きなときもあれば、きら
いなときもあります。

ふゆ
たとえば、冬のさむいとき
たいよう
に太陽がでてくれると、ポカ
き
ポカあたたかく、うれしい気
もち
持ちになります。

なつ たいよう
でも、ぎやくに夏には太陽
おも
がいやだなあと思ってしまう
こともあります。



あさひ き
スッキリめざめた朝日は気
もち
持ちいいけれど、ねむたい

あさ
朝はまぶしいなあといやに
なることも。おなじ太陽で
あっても、好きなときときらい
なときがあるのです。これは
なぜでしょうか。
それは、わたしたちの好
き・きらいは、自分のつごう
によって変わるからです。
自分にとって、つごうのい
いものは好き。わるければき
らい。



おも
こう思ってしまうのが私た
わたし
ちです。私たちはころころ変
わるのです。
それでも太陽は、私たちを

てらしつづけてくれています。
ひ
くもりの日でも、あめの日
たいよう
でも、太陽のすがたは見え
わたり
なくとも私たちに光をとどけ
てくれています。
たいよう
太陽がなければ、この世

かい
界はまくらになってしまい
ます。
か わたし
ころころ変わる私たちとは
たいよう
ちがって、太陽はずっと変
わることはできません。
ほとけ おな
これは仏さまも同じです。
わたし ほとけ
私たちが仏さまのことを忘
ほとけ わたし
れていても、仏さまは私たち
わす
のことを忘れることはありま
せん。

ほとけ だいじ おも
仏さまを大事に思えるとき
ほとけ
もうでないときも、仏さまは
か わたし みまも
変わらず私たちを見守って

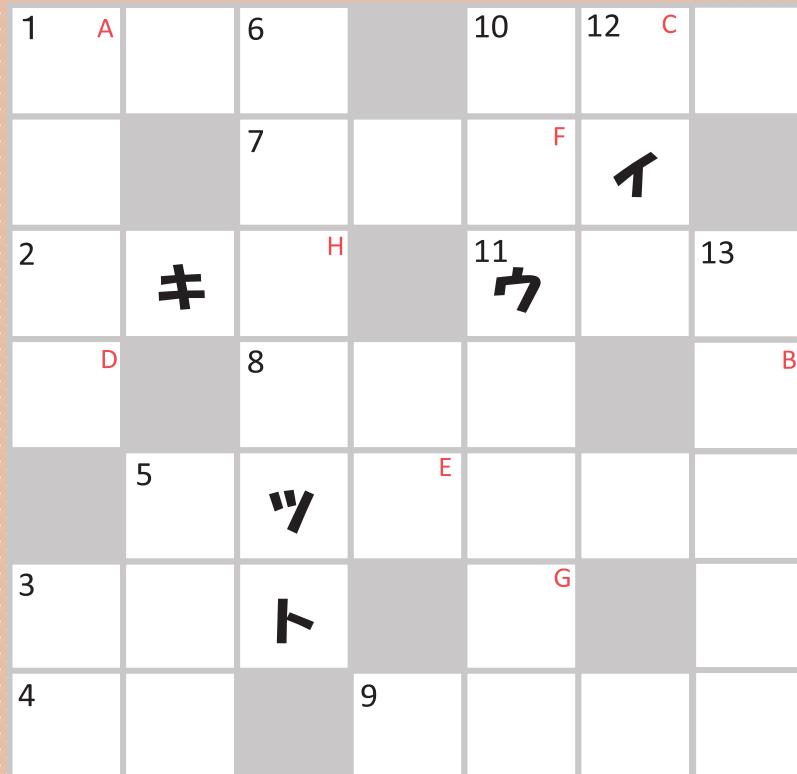
くださっています。
わたし
私たち、このような大き
い
なはたらきのおかげで生か
されています。

か わたし
ころころ変わってしまう私
たちではありますが、「いつ
おも て あ
もありがとう」と思い、手を合
たいせつ
わせることが大切ではない
でしょうか。



→ 「よこ」のカギのこたえは、「よこ」にかけてね。

↓ 「たて」のカギのこたえは、「たて」にかけてね。



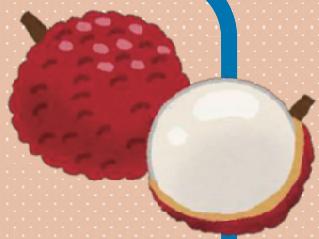
クロス ワード パズル

下の「カギ」をよん
で、しかくをうめ
てね。そしてA~H
のしるしのもじを
をならべると、こ
たえができるよ。



↓ たてのカギ

- やねまでとんで、こわれてきえたのは「〇〇〇〇だま」
- 「なもあみだぶつ」と大きな〇〇で、となえましょう。
- ねているときにかくものは？
- 5にんぐみのこと。(3にんぐみはトリオ、4にんぐみはカルテット)
- ジユール・ヴェルヌのしょうせつ『15しょうねん〇〇〇〇〇〇〇〇』
- 「ようきひ」があいしたくだもの、レイシのみ。かわがあかくて、みがしろい。
- コロナかんせんかくだいで「〇〇〇〇〇〇じたいせんげん」がはつしゅつされました。



→ よこのカギ

- かいこのまゆからとれるせんいです。
- みどりのはねは「りょくか〇〇〇」。あかいはねは「きょうどう〇〇〇」
- 『しらゆきひめと7にんの〇〇〇』
- でんしゃにのるところ。もよりの〇〇。
- 「一周忌」よめるかな？なくなられて1ねんでおつとめします。
- 「十六夜」よめるかな？じゅうごやのつきのひ。
- てのひらにのること。〇〇〇ぶんちょう。
- 9にんチームでたいせんするきゅうぎ。
- ひだりがわにめがあることでカレイとみわけます。
- きがよわく、おとなしいせいかく。



パズルの中の5つのABCDEFHにはいるもじならべると…

こたえ → A B C D E F G H に

★いまから、850ねんくらいまえにおうまれになった、ゆうめいなおぼうさんだよ。

ほとけさまへのごあいさつ



てら ぶつだん まい
このページでは、お寺やお仏壇でのお参りの
ほうほう しょうかい
方法などをご紹介します！

なもあみだぶつ
なもあみだぶつ
なもあみだぶつ…



合掌(がっしょう)

がっしょう ゆび 合掌は、指をそろえて伸ばし、手のひら
しづ あ を静かに合わせます。その合わせた手に
ねんじゆ おやゆび かる 念珠をかけ、親指で軽くおさえます。

かる あ て ひじを軽くからだにそえ、合わせた手を、
むね なか ゆびさき やく 胸のまん中につけ、指先は、からだと約
ど かくど 45度の角度にします。

しうめん あみだ すがた み そして正面の阿弥陀さまのお姿を見な
ねんぶつ とな がら、お念佛を称えます。

礼拝(らいはい)

らいはい がっしょう じょうたい やく ど 礼拝は、合掌したまま上体をゆっくり約45度
かくど まえ れい しづ の角度で前へかたむけて礼をし、静かにはじめ
しせい もど て の姿勢に戻してから、手をそっとおろします。

